

第一回

神戸大学文化フェスティバル

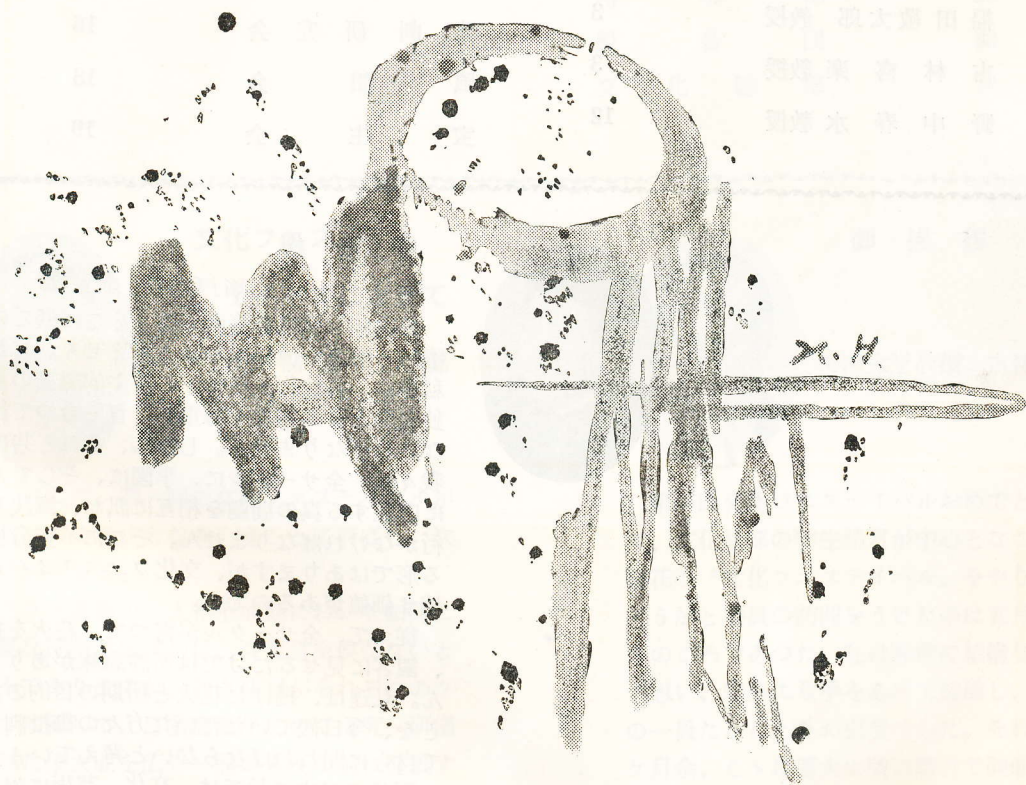
KOBE UNIV.



於 国 際 会 館

第一回

神戸大学 文化フェスティバル



於 神戸国際会館 時 7月4、5、6日 5階ギャラリー
7月9日 大ホール

主催 神戸大学文化総部
協賛 神戸大学学生自治会
後援 神戸新聞社

オーケストラ

皇帝円舞曲 J. シュトラウス (作品 437) は、作品番号を見るとかなり後期のもののようであるが、これは出版がおくれただけのことで、実際に作曲されたのは、1848年頃である。作品の経緯については、これがオーストリア皇帝の御前演奏のために書かれ、皇帝に献呈されたという以外に詳しいことはわからないが、行進曲風なワルツという点で今までのワルツとはまたちがつた趣をもっており、彼のワルツの中でも異色な存在を占めている。軍隊の行進を思わせるような2拍子の序奏で始まり、小太鼓が勇壮な気分を添える。やがて独奏チェロに導かれてワルツの主部に入り、ハ長調の第1ワルツとなり、ファゴットとホルンが華麗な旋律を歌う。第2ワルツでは弦とクラリネットが優しい主題を歌う。第3ワルツでは雄々しい気分が溢れ、壮麗さを加えて第4ワルツに入る。コーダはかなり長く、既出の主題を扱って華麗の限りをつくし堂々と曲を結ぶ。

交響曲第八番 ロ短調 “未完成 Unvollendete” シューベルト

この曲の趣がきわめて透明清純であること、美しい旋律が豊富に使われていること、和声と音色のつかいこなしが新鮮であることなどによつてわが国においてばかりでなく、世界中で最も人気のある交響曲の一つにかぞえられている。それに加えてこの曲が未完成に終っているので、そうなった原因についての、さまざまなつくり話や想像がつけ加えられ、そのつくり話が映画化されるほどポピュラーな曲になっている。シューベルトの交響曲中最もすぐれたものであるばかりでなく、ロマン派のピラミッドでもある。

第一楽章 アレグロ モデラート ロ短調 四分の三拍子

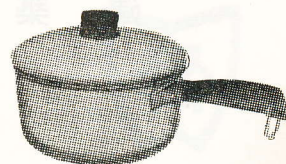
比較的簡単なソナタ形式である。曲の初めに名指揮者ワインガルトナーが「あたかも地下の世界からのように」と形容した低音絃楽器の暗示にとんだ旋律がひびきだす。次いでヴァイリンのきざみ音型の上にオーボエとクラリネットが序の樂奏を發展させた第一主題を奏する。これが次第にもり上つた所で短い経過句で中断し、チェロがト長調の甘美な第二主題を奏し始める。イ長調への美事な転調を含むこの旋律はヴァイオリンでくりかえされるが、プツツリ切れたように終つて一小節の休止ののち、全合奏で前兆的な強奏の

お台所を美しく能率的に.....
それには先づ台所の改善から.....

高級家庭用品

摩 耶 商 店

元町3丁目山側 TEL. ③3271



神戸大学交響楽団部員名簿

Conductor 長谷川 昌治 中 島 良 能
Concert Master 西 村 公 男

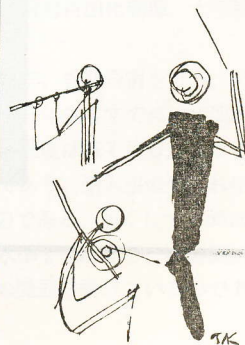
Ist Violin				2nd Violin				Viola		Cello				Flute		Oboe		Trumpet		Trombone		Timpani	
清藤原森富山米神田高安	水原田長田内由山田中本榮城	淑正一良祝美絢ミ幸俊	子興行郎吉子子チ子子	提西玉武永的宮有真石石俵西中	昭康孝延井野出川期村本信陽昌	二朗治也勲子子美俊緑子恵子稔	西野白岡西橋	公裕和晃	男二子夫寛一	鈴齊長中上松桑 谷	木藤川島羽井田 Bass	涼昌良昭敏俊 橋山田三崎	肇子治能夫夫男 堀四越吉祥渡	寺小佐吉 登喬穰郎尙	直経若田 喬正安省	仁倉伊下八 田尾曾上吉	井持藤村鳥 村上野村田	喜三肇利薰 崇紀三英昭	富笹水岩高水	田邦靖弘 橋詮登子	肇彦健弘 登子		

樂節が次第に力を増しクライマックスを作ってから静まり提示部を終る。展開部はこの樂章の中で最もききごたえする部分で、序の主題がホ短調で低弦に出たの様々な樂器によつてこの主題の發展がくりひろげられて劇的な強奏へともり上る。再現部においては第一主題部は提示部よりやや手を加えられ、第二主題はニ長調で出る。コーダは展開部の始まりと同型をとり、序の主題を回想的に用いて感銘深い終結となる。

第二楽章 アンダンテコンモト ホ長調 八分の三拍子 ソナタ形式

前楽章に比べておだやかでしつとりとした楽章。低弦のピッチカートに彩られて、慰めるような第一主題が柔かく奏され、発展する。第二主題は変ハ調で弦の伴奏の上にクラリネットが吹きオーボエに引きつがれて行き、おどけた音型が現れるところで提示部の終りとなる。展開部は始め第二主題の次に第一主題の要素が中心に構成され、再現部は第二主題はイ調で扱われる。最後に展開部の要素、第一主題の発展の十分なターゴによつてこの楽章を閉じる。

第三楽章 アレグロ ロ短調 四分の三拍子 明らかにスケルツォの性格をもつ。はじめの九小節のオーケストラスコアがあり、ピアノ用草稿はトリオの十六小節までが書きかけで終っているが通常演奏されない。



茶 喫 純

Bonton

国際会館西入ル TEL. ③ 2320